

## 今日のみことば

### □ 8月27日(日) 創世記 46章

ヤコブはヨセフが生きていることを知り、エジプトに招かれ神は恐れずエジプトに下って行くことを命じられた。やがて帰らせられると約束を聞き、エジプトへ移り住んだ。

### □ 8月28日(月) 創世記 47章

ヤコブ一族はエジプトのゴシェンの地に移り住んだ。ファラオと会見したヤコブは彼を二度にわたって祝福をした。ヤコブは人生の終わりが近づき、カナンの地に葬られることを願った

### □ 8月29日(火) 創世記 48章

ヤコブの病床をヨセフは二人の息子を連れて見舞った。ヤコブは二人を祝福し、次男には特別の祝福を与えた。神の選びは人の選びとは異なることを知らされました。

### □ 8月30日(水) 創世記 49章

ヤコブは、レアの葬られていたヘブロンにある家族の墓に共に葬られた。た。それは息子たちを超えてその子孫に及ぶ預言であった。ヤコブも死に「先祖の列に」加えられました。

### □ 8月31日(木) 創世記 50章

ヨセフの兄弟たちは、ヨセフがまだ彼らを怒っているかもしれないと心配したが、ヨセフは心から赦しており、最後まで親切にした。ヨセフは死に、その体はエジプトに葬られた。

### □ 9月1日(金) 出エジプト 1章

ヨセフが死に、創世記が終わって300年近くが過ぎた。ヨセフの恩義はすでに忘れられ、新しい王の下でイスラエルの民は奴隷であった。エジプト人は彼らに非常に過酷出会った。

### □ 9月2日(土) 出エジプト 2章

モーセが生まれると、隠して育てられた。王女拾われ、王女は彼を自分の子として育てた。モーセは成長して、一人のエジプト人を殺し、ミデアンの地に逃げた。

ろば No. 1830

2017年 8月27日  
日本バプテスト 立川キリスト教会  
牧師 大川 博之

マルコ 2:3

すると、人々がひとりの中風の者を四人の人に運ばせて、イエスのところに連れてきた。

イエスの十字架によって、私たちの罪の贖いは完了されました。十字架上でのイエスのその宣言は確かなものです。ヨハネ福音書は「言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には神の子となる資格を与えた」(ヨハ1:12)と言いました。この光栄にあずかった私たちの生き方は、自ずから明白です。神を賛美し、しっかりと主を証しすることです。

イエスが「カファルナウムに来られると、家におられることが知れ渡り、大勢の人が集まったので戸口の辺りまですきまもないほどであった」と言います。イエスの権威ある教えもさることながら、そのいやしの働きに引きつけられた人々がいたことでした。イエスの最初の働きは、「イエスはガリラヤ中を回って、諸会堂で教え、御国の福音を宣傳伝え、また民衆のありとあらゆる病気や患いをいやされ」(マルコ4:23)のことでした。確かにイエスは五千人の人々に食物を与えられ養われました。この出来事を通して、イエスを追いかけて来た人たちにイエスは「はっきり言うておく。あなた方がわたしを捜しているのは、しるしを見たからではなく、パンを食べて満腹したからだ」(ヨハ6:26)と言われました。私たちが忘れてはならないことは、イエスの宣教の第一声です。「時は満ちた。神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」(マルコ1:15)です。

イエスの評判を聞いた四人の人が、中風の友人のいやしを願って、苦勞をしてその友人をイエスの側近くに伴ってきたのを見てイエスは中風の人に「子よ。あなたの罪は赦されました」と言われました。すると、そこにいた律法学者が心の中で「この人は、なぜこういうことを口にするのか。神を冒瀆している神おひとりのほかに、いったいだれが、罪を赦すことができるだろうか」と考えました。そのことを知られたイエスは「人の子が地上で罪を赦す權威を持っていることを知らせよう」といわれ、中風の人に「わたしはあなたに言う。起き上がり、床を担いで家に帰りなさい」と言われました。

ルカ福音書は荒野の試練の後「イエスは“靈”の力に満ちてガリラヤに帰られた。その評判が周りの地方一帯に広まった。イエスは諸会堂で教え、皆から尊敬を受けられた。」(ルカ4:14)と記しています。イエスは權威を持って罪の赦しを宣言されてきました。ユダヤ人の思想の中には、罪の赦しと病気のいやしは密接な関係がありました。イエスはメシヤ到来のしるしとして「盲人が見え、足なえが歩き・・・貧しい者には福音が宣べ伝えられている」(マタイ11:5)と述べられました。肉体的氣回復は靈的回復の象徴でした。

イエスは、私たちの罪の赦しのためにおいでになりました。けれども私たちはそれを信じて、イエスを受け入れることなく十字架に付けました。私たちはそのどうしようもない知ることなしには、永遠のいのちを受けることはかないません。私たちはもう一度、十字架上のイエスの言葉をしっかりと耳に刻みつけなければなりません。「成し遂げられた」とイエスは叫ばれました。イエスは確実に私たちに罪を贖いとして下さいました。信じて生きるのです。

次週の聖書・説教 | コリ4:13:5-17 | クリスマスの衣を着る

————— 《 聖書の学び・祈祷会 》 —————  
マタイ18:19-20 キリストは共にいると約束

イエスは、天に帰られる最後に「わたしはいつもあなたがたと共にいる」と約束されました。その約束は確かです。

どのようなときにも神さまは共にいてくださる。兄弟であるクリスチャンが罪を犯して、他の者たちを躓かせたとき、どうすべきかについて教えられたときもそうでした。その方法も示唆されましたが、その真の解決は祈りによらねばなりません。イエスは弟子たちの集まりの中においでになります。「どんな願いごとであれ、あなたがたのうち二人が地上で心一つにして祈り求めるなら、わたしの天の父はそれをかなえて下さる」と言われます。さらには「二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである」と言われます。キリストは私の内におられる。「生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです」告白するのです。



Read God's Word.